

2024年度 事業報告書



公益財団法人 日本ペア碁協会

1. ペア碁の国内及び国際競技大会の開催

1.1 ペア碁ワールドフェスティバル2025の開催準備

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のシグネチャーイベント「世界遊び・学びサミット」に参画し、2025年8月8日（金）から10日（日）の3日間、大阪・関西万博のEXPOメッセ「WASSE」にて開催。

ペア碁に親しむ世界各地のアマチュア選手、日本国内のトッププロ棋士が参加する「ペア碁」の祭典を華やかに開催。ペア碁を通じて、平和の象徴としてそして世界各国・地域の人たちの交流の場を創る。

開催に向けて、本年度より実施内容の検討や出場選手の選考や予選大会開催等の準備開始した。

ペア碁ワールドフェスティバル2025 概要

開催期間：2025年8月8日（金）～8月10日（日）

開催地：2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）EXPOメッセ「WASSE」

< 実施大会 >

- ① 第34回国際アマチュア・ペア碁選手権大会（32ペア64名）
- ② プロ棋士ペア碁選手権2025（国内男女トップ棋士8ペア16名）
- ③ 松田杯 第9回世界学生ペア碁選手権大会（16ペア32名）
- ④ 世界ペア碁公式ハンデ戦（16ペア32名）
- ⑤ 荒木杯ハンデ戦（100ペア200名）
- ⑥ Under15 世界ジュニアペア碁選手権大会（8ペア16名）
- ⑦ 関西ジュニアペア碁大会（100ペア200名）

< 実施イベント >

- ① ベストドレッサー賞
- ② ペア碁国際親善対局
- ③ 世界の服飾文化のルーツを学ぶ民族衣装展示
- ④ 漫画家が描く世界の民族衣装展
- ⑤ ペア碁による認知機能の低下抑制効果 研究展示
- ⑥ ペア碁&パンダネット囲碁入門教室 他



1.2 第34回国際アマチュア・ペア碁選手権大会 国内予選

例年東京にて開催している本大会は、2025年8月8日（金）から10日（日）の3日間、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のEXPOメッセ「WASSE」にて開催される「ペア碁ワールドフェスティバル2025」にて開催する。

本大会の開催に向けて、以下の予定で国内8か所での地方予選を本年度3月より開催し、日本代表の選抜を開始した。また同時併催でハンデ戦を各地区で開催して、囲碁の実力を問わず、広くペア碁を楽しむ機会を提供する。

第34回国際アマチュア・ペア碁選手権大会 国内予選（詳細）

開催期間：2025年3月9日（日）～4月27日（日）

開催地：日本国内の8地区

北海道：3月16日（日）	日本棋院北海道本部 囲碁会館（札幌市）
東北：3月23日（日）	青葉囲碁サロン（仙台市）
関東甲信越：3月30日（日）	日本棋院東京本院（千代田区）
東海北陸：4月27日（日）	日本棋院中部総本部（名古屋市）
近畿：3月16日（日）	日本棋院梅田囲碁サロン（大阪市北区）
中国：3月23日（日）	中国新聞ビル（広島市）
四国：3月9日（日）	ユープラザうたづ 2階会議室（香川県）
九州沖縄：4月27日（日）	日本棋院小倉支部・北九州囲碁センター（北九州市）

○ 四国ブロック予選（3月9日）



対局風景



対局風景



代表予選表彰



ハンデ戦表彰

○ 北海道ブロック予選 (3月16日)



対局風景



代表予選 優勝ペア



ハンデ戦優勝ペア

○ 近畿ブロック予選 (3月16日)



対局風景



対局風景



対局風景



代表予選 入賞者

○ 東北ブロック予選 (3月23日)



開会式



対局風景

○ 中国ブロック予選 (3月23日)



対局風景



対局風景



代表予選 優勝ペア



ハンデ戦優勝ペア

○ 関東甲信越ブロック予選（3月30日）



会場全景



審判長：鈴木伸二八段



対局風景



対局風景



代表予選・ハンデ戦入賞者

1.3 プロ棋士ペア碁選手権2025の開催準備

例年東京にて開催している本大会は、2025年8月8日（金）から10日（日）の3日間、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のEXPO メッセ「WASSE」にて開催される「ペア碁ワールドフェスティバル2025」にて開催する。

本大会の開催に向けて、出場する日本棋院・関西棋院と連携し、男女国内トッププロ棋士16名（男性8名、女性8名）を選出した。

昨年優勝ペア（上野愛咲美女流立葵杯・芝野虎丸九段ペア）以外のペアの組み合わせと1回戦の組み合わせ抽選会は、日本棋院、関西棋院の立会いの下、3月12日（水）に東京本院にて実施した。

○プロ棋士ペア碁選手権2025 出場棋士

○前年優勝ペア



上野愛咲美
女流名人・女流立葵杯

芝野虎丸十段



一力遼
棋聖・名人
天元・本因坊



井山裕太
王座・碁聖



張栩九段



許家元九段



余正麒八段



富士田明彦七段



佐田篤史七段



藤沢里菜
女流本因坊・扇興杯



上野梨紗
女流棋聖



鈴木歩七段



謝依旻七段



向井千瑛六段



牛栄子四段



岩田紗絵加二段

○ 組み合わせ抽選会 (3月12日)



日本棋院：武宮陽光理事長



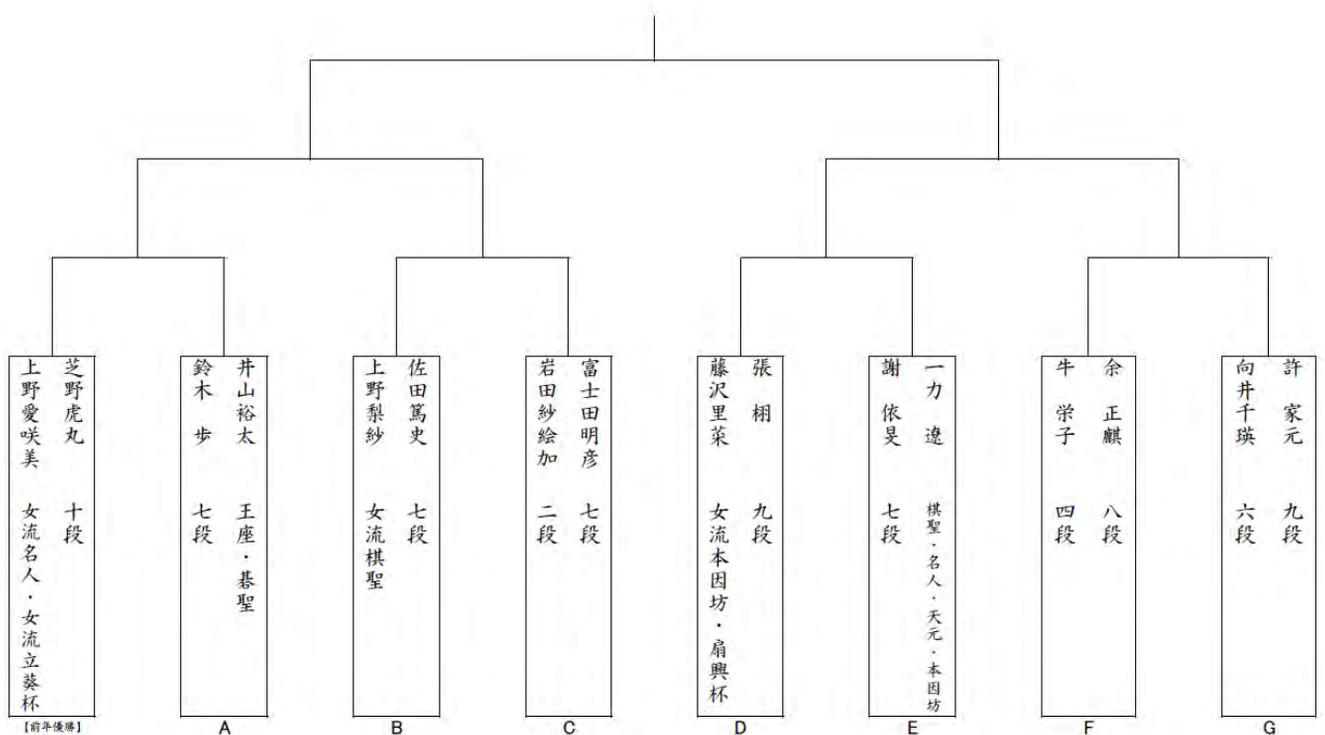
関西棋院：榎原史子常務理事



日本棋院：大淵盛人常務理事



関西棋院：滝口政季常務理事



(敬称略・タイトルは2025年4月17日現在とする)

抽選後のトーナメント表

1.4 第11回関西学生ペア碁大会

本大会は、関西学生囲碁連盟と共同主催で、関西地区の大学生・大学院生及び大学囲碁部若手OBOGのためのペア碁大会である。第11回大会を2024年9月29日（日）に関西棋院囲碁サロンで実施した。

無差別クラスはペアポイントが4.0ポイント以上、ハンデクラスは3.5ポイント以下のペアが参加し、スイス方式での3回戦で対局が行われた。

無差別クラスは原岡 紗良（順天堂大学）・乙部 正成（京都大学）ペアが優勝し、2025年8月に行われる「松田杯 第9回世界学生ペア碁選手権大会」の出場権を獲得した。



対局風景



対局風景



入賞ペアによる記念撮影

1.5 第20回関東学生ペア碁大会

本大会は、関東学生囲碁連盟と共同主催で、関東地区の大学生・大学院生及び大学囲碁部若手OBOGのためのペア碁大会である。第20回大会を2025年3月8日（日）に日本棋院東京本院で実施した。

オール互先の無差別クラス（Aクラス）と、ペアの棋力によるハンデ戦のBクラス、Cクラスに分かれて対局を行い、関東学生囲碁界の男女26ペア52名が参加した。

無差別クラスは西尾結菜（中央大学）・深沢幸人（明治大学）ペアが優勝し、準優勝の麻生歩実（慶應義塾大学）・林隆羽（中央大学）ペアと共に「松田杯 第9回世界学生ペア碁選手権大会」の出場権を獲得した。



対局風景



対局風景



松田杯代表ペアによる記念撮影

1.6 第8回日中韓ペア碁名人選手権（於：中国・安徽省）

2024年5月7日(火)・8日(水)に中国・安徽省合肥市において「第8回日中韓ペア碁名人選手権」が開催された。

新型コロナウイルス感染症の影響により、2019年から延期となり5年ぶりとなった三国での第8回目のプロ棋士ペア碁選手権となる今大会は、日本からは藤沢里菜七段・一力遼九段ペアと謝依旻七段・高尾紳路九段ペアが出場した。

中国から4ペア、韓国からは2ペアが出場し、合計8ペアの豪華なメンバーが集結した。熱戦の結果、優勝は韓国の崔精九段・朴廷桓九段ペアが勝ち取った。

日本の謝七段・高尾九段ペアは残念ながら初戦、藤沢七段・一力九段は準決勝で敗退した。

第8回日中韓ペア碁名人選手権（詳細）

開催期間：2024年5月7日（火）・8日（水）

開催地：中国・安徽省合肥市

主催：中国囲棋協会・安徽省体育局・合肥市人民政府

特別協力：世界ペア碁協会

優勝：韓国 崔精九段・朴廷桓九段ペア

準優勝：中国 李赫五段・李軒豪九段ペア

第3位：日本 藤沢里菜七段・一力遼九段ペア

中国 於之瑩八段・柯潔九段ペア



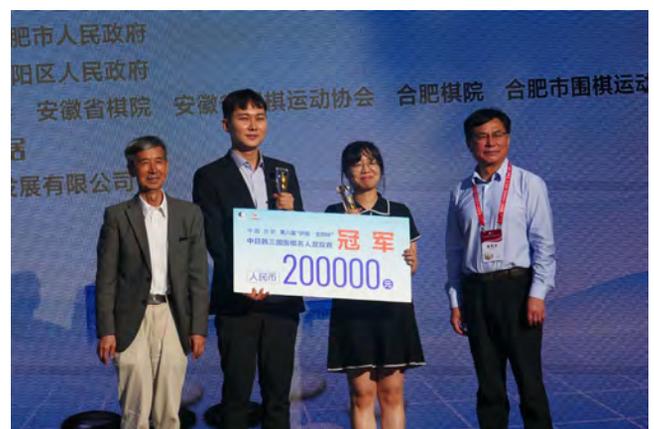
開幕式



於・柯ペア-謝・高尾ペア



抽選会の藤沢七段



優勝した崔九段・朴九段ペア

2. ペア碁に関する国際文化交流

2.1 海外ペア碁愛好者によるセミナー

今年度は国際アマチュア・ペア碁選手権大会を開催しておらず、海外からの選手を招聘する機会がなく、対面でのセミナーは開催しなかった。来年度の大阪・関西万博での「ペア碁ワールドフェスティバル2025」の際に、多くの海外ペア碁愛好家が来日するので、その機会に対面での実施を計画している。

オンラインでは、自身の国・地域でペア碁の普及を行うペア碁プロモーションパートナー（PGPP）を対象として、小規模のセミナーを開催した。

開催日：2024年6月29日（土）

会場：オンライン会議ツール「Metalife」

参加人数：35名

テーマ：各国・地域におけるペア碁の普及状況と将来への展望・提言



事務局が制作した動画を各国・地域のPGPPに紹介



参加した各国・地域のPGPPがオンラインで各国・地域の普及状況などを紹介

2.2 世界各国・地域の囲碁愛好家との交流

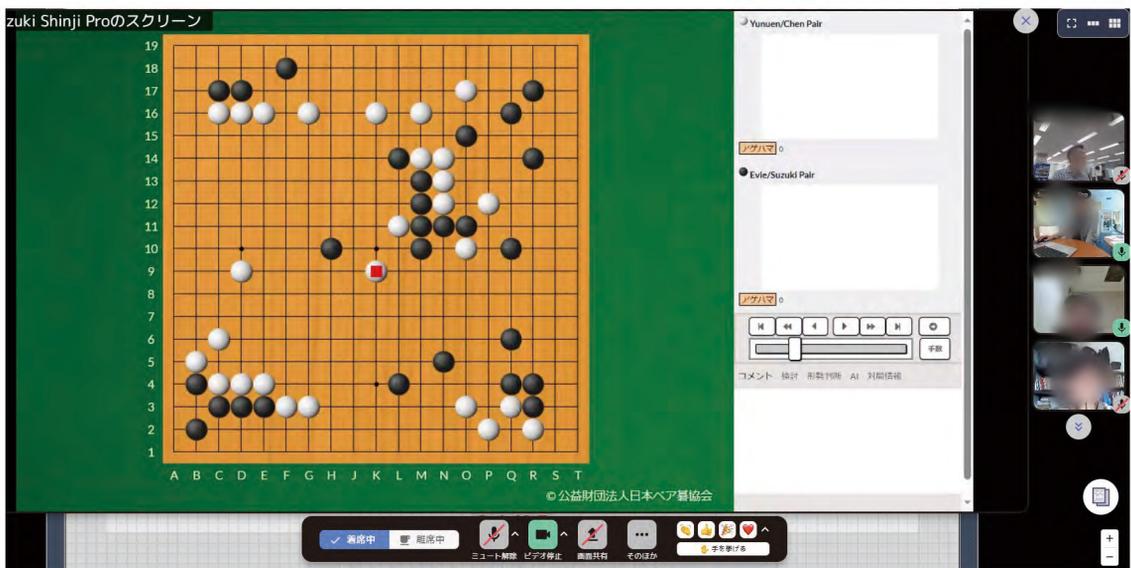
1. PGPP MATSURI”祭”2024

パンダネットの協力のもと、国内外でペア碁普及を行う「ペア碁プロモーションパートナー（PGPP）」を対象としたオンラインでの交流イベントを昨年に続き、今年度も実施した。イベントでは、ペア碁による親善対局とプロ棋士の解説を実施した。

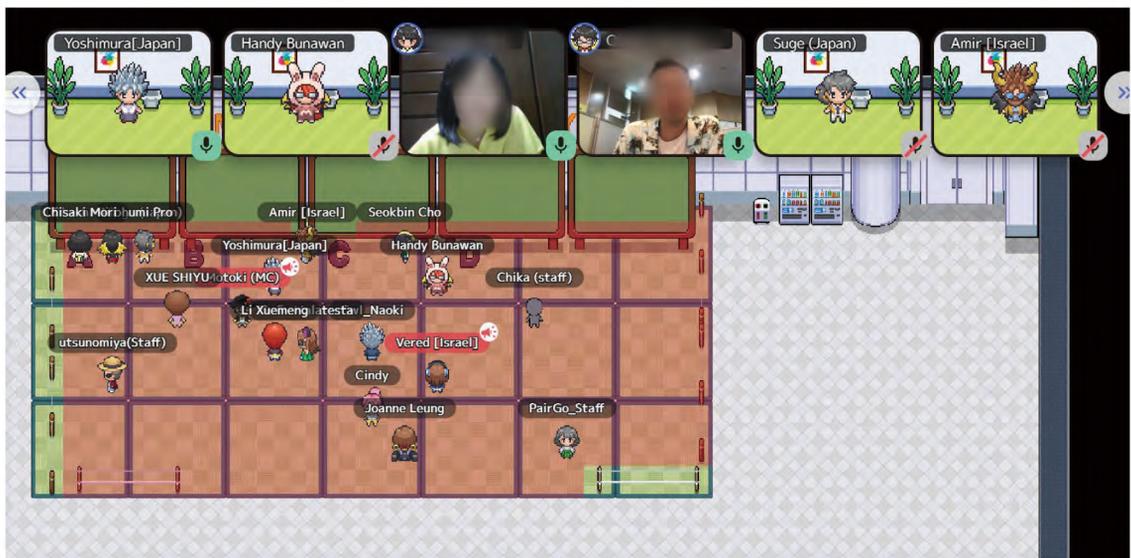
開催日：2024年6月29日（土）

参加者数：アマ30名、プロ棋士3名

参加国・地域：中国、韓国、中華台北、タイ、インドネシア、イギリス、
イスラエル、イタリア、アメリカ、メキシコ、アルゼンチン、
チリ、ブラジル、日本



パンダネットでオンラインでのペア碁対局を実施



対局終了後には、棋士が参加して各対局の解説会や質問コーナーを実施

2. 第8回世界大学生囲碁選手権 ペア碁親善対局

世界中の大学生の囲碁愛好家が囲碁の棋力を向上させ、友情を高める舞台を構築するため、2014年から始まった世界大学生囲碁選手権が東京科学大学 大岡山キャンパスで行われ、最終日に親善対局としてペア碁を実施した。

大会名：第8回世界大学生囲碁選手権 ペア碁親善対局

開催日：2024年12月20日（金）

会場：東京科学大学 大岡山キャンパス 「Hisao & Hiroko Taki Plaza」



ペア碁親善対局の様子



世界大学生囲碁選手権の関係者（於：Hisao & Hiroko Taki Plaza）

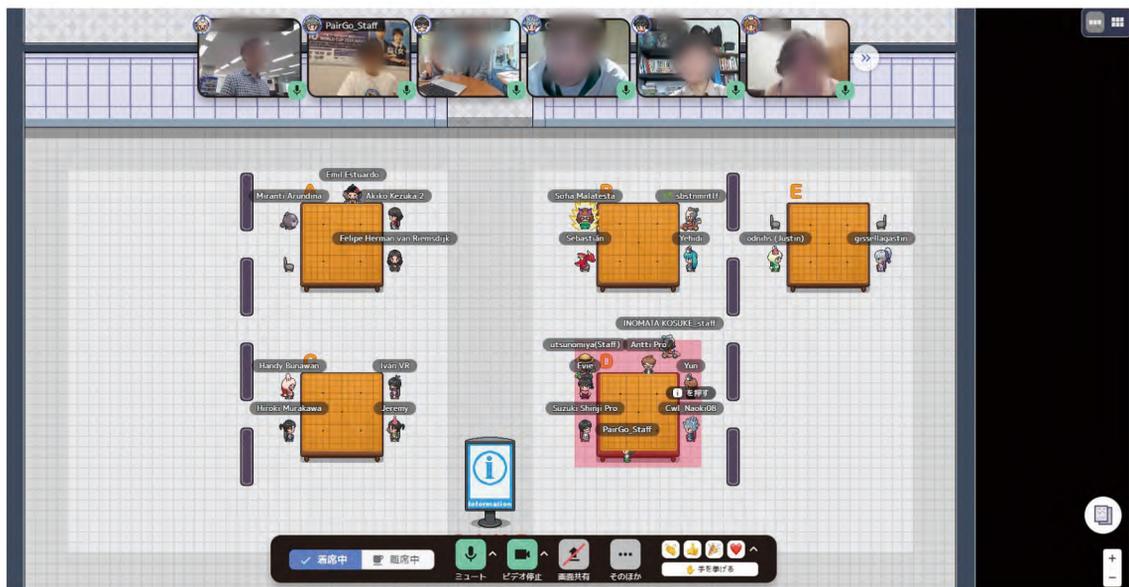
3. ペア碁講習会等の開催

3.1 インターネットペア碁対局講習会

パンダネットの協力のもと実施した「PGPP MATSURI“祭”」にて、インターネットを活用したペア碁対局について、その実施方法の研究を行った。

開催日：2024年6月29日（土）

参加者数：約40名（協会職員・パンダネット社員含む）



メタバースサービスの「Metalife」の機能を利用し、
対局に参加する4名の顔を映像で映し、
音声でのやり取りができる状態にして対局と検討を実施

4. ペア基に関する調査研究及び棋力の認定

4.1 ペア基段級位の研究

2007年に特許として特許庁より認定されたパンダネット社の段級位認定システム（レーティングシステム）は、2021年11月に実施した「ペア基公式ハンデ戦予選」にて研究経過を確認することができた。

さらに研究・改善し、2022年12月9・10日には「世界ペア基公式ハンデ戦」にて成果を検証できた。

来年度の8月8日（金）～10日（日）に2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のEXPO メッセ「WASSE」にて開催される「ペア基ワールドフェスティバル2025」において、2回目の公式ハンデ戦を実施する計画をしており、参加ペアの段級位確定のためにパンダネットのレーティングで段級位を確定した棋力別AI（四段～15級）も活用して、研究を継続したい。

対局待ち一覧

対局待: 38人 / 51人 全ユーザー表示 データ: 5:51 pm 自動対局に登録 対局申込へ 戻る 一覧更新

ユーザーID	国名	段位	勝ち	負け	資格	対局条件
Pbot3d02	Japan	四段 (2d)	4206	2943		条件設定なし
Pbot2d02	Japan	二段★ (1k+)	1000	882		条件設定なし
Pbot1k02	Japan	二段★ (1k+)	908	883		条件設定なし
Pbot2d03	Japan	二段★ (1k+)	952	850		条件設定なし
Pbot1d02	Japan	二段★ (1k+)	2258	1181		条件設定なし
Pbot2k02	Japan	二段★ (1k+)	929	951		条件設定なし
Pbot1k03	Japan	二段★ (1k+)	849	827		条件設定なし
Pbot3d03	Japan	二段★ (1k+)	2028	941		条件設定なし
Pbot2k03	Japan	二段 (1k)	2373	1816		条件設定なし
Pbot3k02	Japan	1級 (3k)	2364	2406		条件設定なし
Pbot3k03	Japan	2級 (4k)	1209	865		条件設定なし
Pbot4k03	Japan	3級★ (5k+)	969	656		条件設定なし
Pbot5k02	Japan	3級 (5k)	958	532		条件設定なし
Pbot6k02	Japan	4級★ (6k+)	864	591		条件設定なし
Pbot7k03	Japan	4級 (6k)	872	720		条件設定なし
Pbot6k03	Japan	4級 (6k)	933	767		条件設定なし
Pbot7k02	Japan	5級 (7k)	1935	992		条件設定なし
Pbot8k02	Japan	8級 (10k)	1224	472		条件設定なし
Pbot10k03	Japan	9級★ (11k+)	316	326		条件設定なし
Pbot9k02	Japan	9級 (11k)	330	265		条件設定なし
Pbot10k02	Japan	9級 (11k)	387	333		条件設定なし
Pbot9k03	Japan	9級 (11k)	302	238		条件設定なし
Pbot11k03	Japan	9級 (11k)	412	324		条件設定なし
Pbot8k03	Japan	9級 (11k)	751	308		条件設定なし
Pbot11k02	Japan	10級★ (12k+)	506	364		条件設定なし
Pbot13k02	Japan	10級★ (12k+)	422	390		条件設定なし
Pbot15k03	Japan	10級 (12k)	286	245		条件設定なし
Pbot12k03	Japan	10級 (12k)	490	373		条件設定なし
Pbot14k02	Japan	10級 (12k)	337	272		条件設定なし
Pbot12k02	Japan	11級★ (13k+)	472	308		条件設定なし
Pbot14k03	Japan	11級★ (13k+)	466	357		条件設定なし
Pbot15k02	Japan	11級 (13k)	522	490		条件設定なし

4.2 ペア碁の認知機能低下抑制効果の研究

これまで「囲碁」の認知機能低下抑制効果の研究に長年取り組んできた実績と経験がある(地独)東京都健康長寿医療センターの研究チームと共同で、「ペア碁」が認知機能低下抑制に効果があることの実証研究を開始した。

通常の「囲碁」の学習に加え、パートナーや対戦ペアとの交流やコミュニケーションの要素が入る「ペア碁」を取り入れることにより、高齢者の認知機能や脳機能に更なる効果が得られる可能性がある。「ペア碁」が認知機能低下抑制に効果があることが科学的に実証されることにより、国内外でのペア碁普及がこれまで以上に促進され、その学習者の健康寿命の延伸に寄与し、高齢化の進む我が国において広く国民の利益に寄与すると確信している。

本年度11月よりアメリカでの研究開始し、来年度前半まで実施予定。

○ ペア碁を活用した生涯学習型プログラムの開発と評価：国際研究

1. 研究目的

文化的に囲碁に馴染みのない非アジア圏で、囲碁やペア碁が健康増進ツールとして受け入れられるかどうか、どのような効果がみられるかは不明である。米国においてペア碁および囲碁プログラムの効果検証を行い、国内の結果と比較する。

2. 本研究の意義

ペア碁プログラムが多様な人種、文化、場所で健康増進ツールとして適用可能かを検証することができる。米国において認知症ケアは社会、経済的に大きな負担であり、予防に力を入れている。このような現状で新たな認知症予防に関するエビデンスを創出ことは、米国および世界の老年医学界に強いインパクトを与えることができる。ペア碁の効果が国際的に認められることで、ペア碁が日本という長寿国発の新たな認知症予防ツールとして世界的に普及する可能性がある。

3. 研究機関

The University of Iowa, College of Public Health / Drexel University, College of Nursing and Health Professions / 東京都健康長寿医療センター研究所

4. 対象者

米国に居住する65歳以上で囲碁未経験の高齢者75名

5. 方法

参加者をペア碁群、囲碁群、対照群に振り分け、プログラム前後で健康調査を行う。

○ スケジュール

2024 11月	12月	2025 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
← 倫理審査 →			← 参加者募集 →		事前健診	← ペア碁教室 囲碁教室 →			事後健診
← プロトコル論文投稿 →									

5. ペア碁の普及に貢献した団体等の顕彰及び助成

5.1 国内ペア碁大会への賞品提供、大会支援

- ① ゆうきゅう戦コシノジュンコクリスタルカップ 特別協力と備品提供(1月28日)
- ② 第7回鳥取ペア碁大会 後援と賞品提供 (8月25日)
- ③ 第29回京滋男女ペア碁まつり 後援と賞品提供 (9月15日)



ゆうきゅう戦コシノジュンコクリスタルカップ



第7回鳥取ペア碁大会



第29回京滋男女ペア碁まつり

5.2 海外ペア碁大会への賞品提供、大会支援

- ①ベネズエラペア碁大会 賞品提供（7月）
- ②ヨーロッパペア碁チャンピオンシップ 2024 協力・賞品提供（8月）
- ③アメリカ碁コンgres2024 in オレゴン 協賛・賞品提供（7月）
- ④ヨーロッパ碁コンgres2024 in フランス後援・賞品提供（8月）
- ⑤インドペア碁大会 賞品提供（9月）
- ⑥マレーシアペア碁大会 賞品提供（12月）



①ベネズエラペア碁大会2024



②ヨーロッパペア碁チャンピオンシップ2024



③アメリカ碁コンgres2024



④ヨーロッパ碁コンgres2024



⑤インドペア碁大会2024



⑥マレーシアペア碁大会2024

6. ペア碁に関する情報のホームページ等による提供

6.1 「ペア碁ワールドフェスティバル2025」の開催案内、「第8回日中韓ペア碁名人選手権」の大会情報を、協会ホームページに掲載し多くの囲碁ファンが閲覧した。

6.2 ウェブサイトの貸借対照表などの公開資料を更新した。

「ペア碁ワールドフェスティバル2025」
大阪・関西万博「世界遊び・学びサミット」内にて開催
2025年8月8日(金)～10日(日)

日時：2025年8月8日(金)～10日(日) 会場：2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博) EXPO メッセ「WASSE」



公益財団法人日本ペア碁協会(東京都千代田区、松浦良一郎理事長)は、2025年8月8日(金)～10日(日)の3日間、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)のEXPO メッセ「WASSE」にて開催される、シグネチャーイベント「世界遊び・学びサミット」に参加し、「ペア碁ワールドフェスティバル2025」を開催いたします。

大阪・関西万博のシグネチャーイベント「世界遊び・学びサミット」にペア碁が参画。中島プロデューサーが主催するシグネチャーイベント「世界遊び・学びサミット」内にて、囲碁・ペア碁に親しむ世界各地のアマチュア選手、日本国内のトッププロ棋士が参加する「ペア碁」の祭典を華やかに開催。ペア碁を通じて、平和の象徴として世界各国・地域の人たちの交流の場を創ります。

第8回 日中韓ペア碁名人選手権

2024年 5月7日(火)・8日(水) **ライブ中継**

| 大会概要 | **ライブ中継・結果** | フォトギャラリー |



日中韓の代表強豪8ペアが熱戦を繰り広げる第8回を迎えた今大会は5月7・8日に渡り中国・安徽省で開催され、日本からは藤沢里菜七段・一力遼九段ペアと謝依旻七段・高尾紳路九段ペアが出場しました。熱戦の結果、韓国の崔精九段・朴廷桓九段ペアが優勝。この特設ページでは、全対局の棋譜再現や写真で大会の模様をご覧ください。

ライブ中継・結果

●結果

優勝		【韓国】崔精九段・朴廷桓九段ペア
準優勝		【中国】李赫五段・李軒豪九段ペア
第3位		【日本】藤沢里菜七段・一力遼九段ペア
第3位		【中国】於之莹八段・柯潔九段ペア

7. その他目的を達成するために必要な事業

7.1 一般社団法人全日本囲碁連合

(構成団体：日本棋院・関西棋院・日本ペア碁協会) の運営

日本棋院、関西棋院と連携し、囲碁ナショナルチーム（碁・Goジャパン）に参加する棋士を中心に日本のトッププロ棋士・若手棋士に向けた強化合宿の運営を行いました。

○ 全日本囲碁連合 2024年度 強化合宿

開催期間：2025年2月14日（金）～15日（土）

● 参加棋士 ※ 段位とタイトルは合宿実施時



一力遼棋聖



芝野虎丸九段



関航太郎九段



佐田篤史七段



広瀬優一七段



大竹優七段



福岡航太郎七段



酒井佑規六段



三浦太郎四段



表悠斗三段



桑原樹二段



藤田怜央初段



藤沢里菜
女流本因坊



上野愛咲美
女流立葵杯



上野梨紗
女流棋聖



牛栄子四段



柳原咲輝二段

● 監督・コーチ



高尾紳路監督



山下敬吾コーチ



瀬戸大樹コーチ



小山空也コーチ





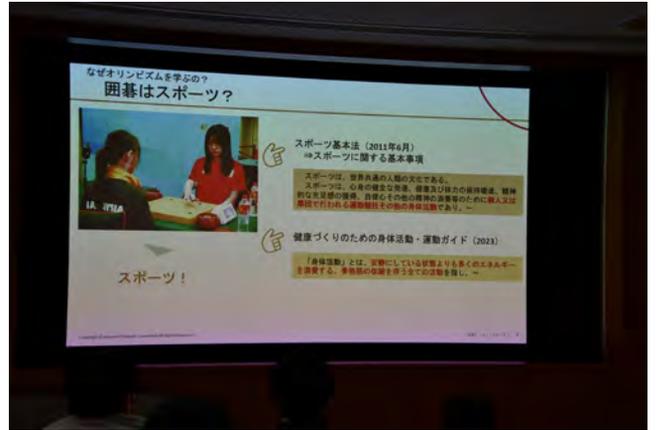
強化対局



ペア碁の強化対局



JOCエリートアカデミーディレクターの小口貴久氏



「オリビズム」についての講習が行われた



柔道女子金メダリストの谷本歩実氏の講習



勝負の心構えについて谷本氏から講習を受けた



メンタルトレーニング講師の近藤みどり氏



モチベーションの維持についての講習

8. 2024年度活動の総括

- 8.1 役員皆様のご尽力や多くの関係各位のご協力をいただき「ペア碁ワールドフェスティバル2025」の開催に向けた協賛獲得活動や開催準備を順調に進めることができた。
- 8.2 日本の大学生対象の「関東学生ペア碁大会」と「関西学生ペア碁大会」今年度も若年層の大会を主催した。今後も若い世代へのペア碁普及をさらに充実させていきたい。
- 8.3 海外でも多くのペア碁大会が開催された。アメリカ碁 कांग्रेस、ヨーロッパ碁 कांग्रेस、イベロアメリカ碁 कांग्रेसでもペア碁トーナメントが行われた。これらの大会を通して、アメリカ囲碁協会、ヨーロッパ囲碁連盟、イベロアメリカ囲碁連盟との協力関係を一層深めることができた。
- 8.3 ペア碁の認知機能低下抑制効果の研究について、アメリカでの研究準備が進んでいる。東京都健康長寿医療センターと連携して、引き続き研究に力を入れていきたい。
- 8.4 構成団体の1つとして日本棋院、関西棋院と連携し、一般社団法人全日本囲碁連合の運営を行い、国立スポーツ科学センター（JISS）において、日本のトッププロ棋士・若手棋士に向けた強化合宿を実施した。
今後も日本棋院、関西棋院、日本ペア碁協会の3団体で緊密に連携して、我が国における伝統文化である囲碁の更なる普及振興を図るとともに、世界に向けてこれまで日本が育ててきた「囲碁」、日本生まれの「ペア碁」の文化をより力強く発信していきたい。

9. 来年度に向けた課題

- 9.1 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のシグネチャーイベント「世界遊び・学びサミット」内で開催する「ペア碁ワールドフェスティバル2025」の協賛獲得活動
- 9.2 第20回アジア競技大会（愛知・名古屋アジア大会）の期間中に名古屋市内で実施する「Aichi-Nagoya2026公認文化プログラム」のペア碁大会の実施準備と協賛獲得活動
- 9.3 マインドスポーツ団体との連携強化及び「ペア碁」実施の働きかけ